教職員のみ

学校番号	１０８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選「古典探究」　（大修館書店）						
副教材等	古文単語覚えるぞ３２１（尚文出版） 古文解釈のための総合力を養う　完全マスター古典文法　改訂三版（第一学習社） 四訂版　読解を大切にする体系古典文法学習ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生の「古典探究」の授業の中で、１年次よりも高度な古典を学びました。３年生では、より複雑な物語を、古文を中心にして学習しますので、さらに古典世界に近づくことができると思います。
・文章そのものも古典文法等も、２年生よりも高度になりますが、これまでに学んだ基礎を大切にして、あきらめることなく学習に取り組んでもらいたいと思います。
・予習の仕方やノートの取り方などは、担当者の指示に従ってください。

2　学習の到達目標

より高度な物語性を持った古典作品を読むことにより、古典世界のおもしろさに触れ、我々の祖先が抱いていた生活感覚を知り、歴史と古典の接点を楽しめるようになることを目指す。
⑴　歴史の流れの中で古典作品が生まれたことを理解し、当時の人々の考え方や行動原理を知る。
⑵　文法的知識を基礎に、古典を論理的に解釈する力を伸ばし、古今の日本語への理解を深め、日常会話の語彙に奥行きを生成する。
⑶　現代語の中に生きている古典を理解することで、言語生活を豊かなものにしていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、古典作品をとおしてその特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	古典を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、古典世界への認識を深めようとしているとともに、古典作品を通して言語感覚を磨き、日常会話に通じる語彙を育成する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

教職員のみ

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	物語(一) ［教材］ 「大鏡」 『鶯宿梅』	a:「大鏡」の概略を身につけ、「歴史物語」という文章の特徴について理解している。また、古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b:[読]必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c:歴史物語に興味をもち、歴史と物語の違いについて、自分の考えをもとうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	随筆(一) ［教材］ 「枕草子」 『うれしきもの』	a:「枕草子」の概略を身につけ、「随筆」という文章の特徴について理解している。また、当時の時代背景や文化について理解している。 b:[読]必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。また、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:平安時代の貴族の暮らしに興味をもち、宮中のしきたりや制度について理解しようとしている。また、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
二学期	日記(一) ［教材］ 「蜻蛉日記」 『町の小路の女』	a:『蜻蛉日記』の概略を身につけ、「日記」という文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b:[読]必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 [書]和歌について理解し、書き手の心情を表現できる。 c:日記に興味をもち、『蜻蛉日記』の特色について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	和歌・俳諧 ［教材］ 『古今和歌集』	a:『古今和歌集』の概要を理解し、古文や和歌に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。また、文語のきまりや和歌に特徴的な表現技法とその効果について理解している。 b:[読]文章や和歌を正しく読み上げ、作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、文章の内容や構成などを捉えている。 [書]和歌について理解し、書き手の心情を表現できる。 c:進んで和歌の特徴を理解し、学習の見通しをもって和歌を鑑賞しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

	物語(二) ［教材］ 「雨月物語」 『浅茅が宿』	a:時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b:[読]古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することをとおして、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	物語(三) ［教材］ 「平家物語」 『忠度都落ち』	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b:[読]古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:語り物の優れた表現を味わい、歴史的背景をふまえて解釈しようとしている。			
三学期	故事・逸話(一) ［教材］ 「水魚の交はり」	a:「水魚の交わり」という言葉の初歩的な知識をもっている。また、訓点に従って正しく訓読ができ、注釈に基づきながら、文章の意味を理解することができる。 b:[書]「三国志」から生まれた成句や故事成語を理解し、日常生活で使用できるように例文を書くことができる。 [読]文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 c:三国時代の情勢を理解し、主君と臣下の関係を越えた人と人のつながりの深さを学び、人間の生き方を考える。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　２５　　）時間

・読むこと　…　（　　４５　　）時間